

清瀬市まちづくり基本条例に基づく提言について

当委員会では、清瀬市まちづくり基本条例に基づく市民提案について審議してまいりましたが、実施に向けて取り組むべきものと判断いたしましたので、別紙のとおり提言いたします。

平成19年5月23日

清瀬市長 星野 繁 殿

清瀬市まちづくり委員会
委員長 中川 忠

平成18年度提言書

I 提言の主旨

清瀬市まちづくり委員会は、清瀬市まちづくり基本条例9条2項に基づき「南口ふれあい通り商店街の活性化」について、市長に提言いたします。

II 提言の理由

1. 市民からの提案

市民から下記の提案がありました。

【提案の題名】

「南口ふれあい通り商店街の活性化について」

【提案の内容】

現在の清瀬の賑わいと繁栄は、南口商店街より始まったといっても良いのではないかと思います。その商店街が今元気をなくし、衰退しようとしています。そのうえ、新小金井街道枝道の接続等で商店街が分断される影響が懸念されます。

この南口商店街が衰退することは、清瀬の街全体の賑わいと繁栄に大きく影響し、街全体が衰退してしまうのではないかと危惧いたします。地元の商店街はもちろんですが、行政においても活性化の道筋を探る時期ではないかと思います。

そして、次のように活性化への対策例として考案してみました。

①商店街の道路を関係車両以外通行禁止にする。②商店街の道路を一方通行にする。③歩行者や車椅子の通行道路に整備する。④街路樹などを植え、緑と花による憩いや優しさを与える。⑤街路樹の木陰に日よけの傘や休み台を設け風情を持たせる。⑥商店街の方が交替でお茶の無料サービスを行い、高齢者などとの話し相手をする。⑦新道路による分断を感じさせないように屋根つき階段道路を設置するなどの工夫をする。⑧駅頭で地元野菜を販売し、屋台売りなどで賑わいを演出する。⑨バス乗車広場以外は、路地などに賑わいの演出をする。⑩巢鴨の地藏通りのように人が寄る通りに発展させる。

2. まちづくり委員会での検討

上記の提案について、まちづくり委員会で検討しました内容は下記のとおりです。

- 南口ふれあい通り商店街は、駅前からなり立地条件が非常に良く、清瀬の『顔』ともいえる商店街である。最近、シャッターが閉まっている店舗が目につき、活気がない。以前に比べ生鮮食品などを取り扱う店がなくなったことと、同商店街周辺には駐車場がないなどが原因と思われる。
- 商店街の名物となるものを創ったら良い。主婦は多少高額でも、目を引くものであれば購入する。雰囲気がいよところであれば、人は人を呼ぶもので、各店舗が元気を出し、助け合い、それぞれの特色を出して欲しい。
- 安心して買物ができるには、安全な道路の確保である。19年前に東京都と清瀬市の補助で商店街の道路の整備を行ったが、かなり劣化が進んでいる。破損箇所が多く、客の苦情の8割は段差等の道路に関することである。この補修が当面の課題だが、市民の方々に一枚ずつ敷石を買ってもらい、名前を入れるなど、補助金に頼らず、かつ、集客にもつながると思う。
- 道路といえば、新道が開通すると商店街が分断され、駅から離れた商店街は寂れてしまうという危機感がある。活性化には、この新道の開通が大きなきっかけになると思われるが、市行政と一緒に考えて考える機会でもある。
- 商店街の対策委員会で議論しているようだが、商店街だけで解決できる問題ではない。この二つの道路問題を含め、活性化の方策については行政の協力はもちろん、市民をはじめ幅広い関係機関による検討会議が必要である。
- 提案者は南口商店街の活性化というテーマで提案しているが、これは清瀬全体の発展を意図していると思われる。

このようなことから、まちづくり委員の大半が提案の主旨に賛同し、早急に取り組むことが重要との認識で一致しましたので、以下のことを提言します。

3. これからの発展に向けて

南口ふれあい通り商店街の賑わいと繁栄は、かつて清瀬の発展の象徴でもありましたが、最近では空き店舗が目立つようになり、また、サービスの低下などが言われております。現在、チャレンジショップなどにより活性化が模索されていますが、失われた元気は回復せず、依然として衰退傾向は続いているように見受けられます。

南口商店街の衰退は、清瀬の他の街並みはもとより、市全体の活気にも影響を与えかねません。活性化の方策については、地元商店街の方々が主体となって検討し、実施することはもちろんですが、清瀬市の顔とも言える南口商店街の振興は不可欠であることから、行政においても積極的な支援策を講ずる必要があると考えます。

つきましては、市民ならびに市行政をはじめ関係各機関が参加する「南口ふれあい通り商店街活性化のための検討協議会」を地元商店街とともに早急に組織し、市民提案に示された対策例も参考にして、新道の整備開通を見据えて活性化実現に向け取り組むことを提言します。